

大阪教区典礼研修会

新しい『ローマ・ミサ典礼書』の 実施に向けて



発売されたばかりの冊子を会衆に見せる嘉松神父

とでも分
かりやすい
解説で、変
更箇所を把
握ができ、
改訂の理由
や背景・典
礼の意味を
知って理解
を深め、変
更の趣旨を受
納得して受

講師は、カトリック中央協議会・典礼委員会秘書を務める嘉松宏樹神父(長崎教区)。阪神地区の小教区と修道会の典礼担当者代表各1名ずつと教区典礼委員会メンバーなど、20人ほど参加した。嘉松神父には、新しい式文の変更箇所について説明していただき、司式者と会衆の応答の「予行演習」も行われた。

祭の手を通しておさげする「は」は「あなたの手を通して」おさげする」と変更される。変更された言葉が大変印象深く心に残った。また「ことばの典礼」において、朗読の終わりに朗読者は手を合わせてはつきりと「神のみことば」と唱え、一同は「神に感謝」と答え、朗読者は聖書に一礼してから席に戻る動きに統一される。これまで小教区ごとに違いがあった「ことば」や「所作」が一致できるのは良いと思った。

研修会の中で変更される箇所の「所作」を確認し、変更される「ことば」を何度も声に出して、司式者との応答を練習すること、変更への抵抗感が少なくなった。とても分かりやすい解説で、変更箇所の把握ができ、改訂の理由や背景・典礼の意味を知って理解を深め、変更の趣旨を受納得して受

来年の待降節第一主日(2022年11月27日)から使用が開始される新しい「ミサの式次第と第一〜第四奉献文」。その変更箇所と内容について理解を深めるために、10月24日(日)14時から、仁川教会で非公開・ライブ配信で教区典礼研修会が行われた。



12
2021

発行所
大阪府中央区玉造2-24-22
カトリック大阪大司教区
広報委員会
郵便番号 540-0004
TEL (06) 6941-9700(代表)
TEL (06) 6946-3223(直通)
FAX (06) 6946-3224(直通)
E-mail: jho@osaka.catholic.jp
編集 広報委員会
発行人 前田万葉

本紙
「点訳版」「音訳」
あります。〈無料〉
※ご希望の場合は
下記まで申込み
「点訳版(点字本)」
時報 ☎06-6946-3223(直通)
[E]06-6946-3224(直通)
「音訳(テープ・デジ)」
山口さん ☎0798-34-4228

☆ 校岡教会の取り組み
☆ なみはや教会堅信式
☆ 小教区バザー・アンケート
☆ ラジオ「信仰の時間」中島貴幸神父
☆ 聖霊降臨祭へのメールプレゼント jho@osaka.catholic.jp
(2面) ☆ イエスにならう生き方を求めて
(3面) ☆ この年の難移移動者たちのかかり
(4面) ☆ ユスト高山右近の生涯と信仰
(5面) ☆ カマエの寺 ☆ 生々 難移移動者
(6面) ☆ 難移移動者
(7面) ☆ 難移移動者

『時報』原稿・
資料等の締切は
前々月末です。

外国人司牧のために

『外国人信徒の登録マニュアル』

毎年恒例の「INTERNATIONAL DAY(国際協力の日)」は今年もコロナ禍で中止。代わりに、別の角度から外国人信徒の司牧をさせようとする動きが出てきた。新しい『外国人信徒の登録マニュアル』の発表である。

大阪教区では、来日する外国人信徒への司牧を長年の課題として、対策の検討を進めてきた。方策のひとつは、教区内で彼らの母国語によるミサを実施し、励ましや支えとなることだ。外国人司祭の増加により、こうした機会も増えてきている。

- ① 3か月以上滞在する外国人信徒は原則、信徒台帳登録の対象となる。
- ② 登録が難しい場合は、各信徒の秘跡受領の記録の他、司牧のために必要あるいは有益な事柄を記載したメモや独自の個人記録カードなどを作成し、保管すること。
- ③ 日本の教会固有の「教会維持献金制度」の適用は、司牧的配慮のもと、各小教区の実情に応じて判断すること。

一方、長期間日本に滞在する外国人信徒も増えてきていることから、彼らもどこか近隣の小教区に所属し、その共同体のメンバーの一員となることが求められるようになってきた。それが「神の家族」である教会の本来の姿だからだろう。日本のカトリック教会は「日本人の教会」ではなく「日本に住んでいる人たちの教会」となるべく、外国人信徒の教会活動への積極的な参加も促す必要がある。

そのため、第187回司祭評議会において、以下3点の指針が提出され、承認された。

新しい『マニュアル』は、1994年に発表された教区の『外国人信徒の小教区信者籍台帳への登録のためのマニュアル』とともに配布された資料を再構成したもの。案内文と用語の10か国語の対訳も掲載されている。9月31日付で各小教区に配布された。

次ページで、外国人信徒を共同体としてささえる小教区の一つを紹介したい。

酒井俊弘補佐司教による クリスマスを迎える ための連続講話と祈り

12/21(火) 22(水) 23(木) 毎日午後3時
教区 YouTube チャンネルより配信

- ◆講話(15分) ◆祈り(15分、テキストをもとに)
- ◆派遣の祝福

「わたしは、わたしのことばである我が子によって、すべてのことをすでに話し、そのほかに何も言うべきこともないのに、なおそれ以上のことを今答えたり、示したりすることができるだろうか」

——十字架の聖ヨハネ司祭



大阪教区のカトリック病院 ガラシア病院

特徴的な医療

ホスピス(緩和ケア)
リハビリ・神経内科
肝臓内科・循環器内科

医療法人ガラシア会

理事長 前田万葉 大司教
チャプレン 松本信愛 神父

〒562-8567
箕面市栗生間谷西 6-14-1
☎ 072-729-2345

医療法人ガラシア会



信仰の時間

ABCラジオ

(朝日放送)

AM1008/FM93.3

毎週日曜日

5:50~6:00AM

朝一番、祈りのひと
ときをもちませんか

12月担当: 酒井 淳 神父

スマホアプリのradiko(ラジオ)でも聴くことができます。



ひとりで悩まないで
~私たちに聴かせてください~

カトリック大阪大司教区 セクシュアル・ハラスメント 相談窓口

電話番号: 06-6941-9718

相談窓口受付時間

月・火・金曜日(祝日を除く)
午前10時~午後4時

あなたの悩みを親身になって受け止めます。
秘密は守られます。

